

靈園便り

平成20年3月号 Vo.6



先祖とふれあう靈園がある

みかけ石納骨壇好評販売中！

永代供養納骨壇が完売間近になり、ただ今増設中です。いい場所はお早めに！

だいぶ寒さも和らいで、過ごしやすい気候になってまいりましたが皆さん、いかがお過ごしでしょうか。御陰様で靈園の方も順調に運営をさせて頂いております。

これも「皆様方の御蔭であり靈園に眠る御靈の御陰様」と有難くいつも感謝しております。

先月号では靈園の維持、発展の為の当分の施策について述べさせて頂きました。

今月号では「人生観や死生観」と言う事についてお話ししてみたいと思います。

私がそのようなたいそうな事をお話しする資格があるかどうかは別としまして、取り敢えず考えている事の一端を御話しさせて頂きます。

遅かれ早かれ「命ある者、いつかは死ぬ」事は避けられません。昔から人は皆「死を恐れ、死から逃れそして救われよう」としてきました。幸福論的な意味で考えますと「自分あるいは夫婦や家族が健康で何事もなく平穀無事に暮らしていく事」が根底での最大の喜び、幸福であり感謝する所でなければなりません。そして何が大事と言って命ほど大事なものはありません。その命も「健全な精神と肉体」の備わった命であれば何も言う事はありません。身体が健康でも「頭がボケたりおかしくなければ」本人はもとより周囲も大変です。また精神がしっかりとしていても身体が悪ければこれも困ります。両方とも程度の差で多少の悪さは何とか我慢できても、かなり状態がひどければ本人が悩んだり苦しんだりしますし、周囲も大変です。

あの有名な「ヘレン・ケラー」は1歳9ヶ月で原因不明の高熱と腹痛に襲われて「耳も聞こえず、目も見えず、話も出来ない状態」となりましたが、本人の不屈の努力と両親はもとより「サリヴァン先生」の献身的な指導や周囲の暖かい励まして立派な生涯を送りました。「ヘレン」の社会的活動はただの講演だけにとどまらず、今日まで米国内で関係した公共事業は数知れず、また女史の訪問した海外の国々では、女史の来訪を記念して、その国に視聴覚障害者のための幾多の福祉事業が生れ、現在大きく実っているそうです。本人の努力はさることながら、強力な指導者と周囲の環境が整って奇跡を起こさせたと言えます。つまり周囲に恵まれた要素さえあれば、あとは「本人次第で人生は変えられる」という事です。

若い時期に「氣」について興味を示し、学んだ事があります。「氣の持ちよう」で人間の精神状態や健康はどのようにでも変わります。「氣」をどのように用い、常に「良い方向に保っていけるか」が「幸福な人生を送る鍵」になるように思います。嫌なことや不幸に見舞われた際に「氣を取り直して頑張れる自分作り」を常に考え「自分が頑張れば出来ないことは何もない」という強い信念で「氣力を充実させて」生きていけば必ず幸福になれるように思います。

そして「いつ死んでも悔いのないように」つねに「充実した今を生きる事」を第一に考えて「時間大切に」他人に「迷惑をかけず恨まれるような事や悲しませるような事をしないように」して「欲を張らずに」生きていけば後願の憂いなく最後を過ごせそうな気がします。

平成20年3月吉日 【幸福な生き方とは？】 財団法人 新生田上靈園 理事長：種子島 登

靈園からのお知らせ

田上靈園からのお知らせのコーナーと今月の桜島の写真です。



■3月20日（祝）彼岸の中日は7:00に開園致します。
10:00から春のお彼岸慰靈祭（仏教）を行います。

■現在永代供養納骨壇の増設工事中で、檀家の皆様には大変ご迷惑をお掛けしております。特に1階の皆様には通行のさまたげ等になりご迷惑をお掛けします。
3月23日に工事完了予定となっております。



葬祭・葬祭について

今月号では、『神式の葬儀（葬場祭）』についてを掲載します。

●葬儀の場所

葬儀を「葬場祭」といい、死を忌み、慎む意味から、神社の神殿では執り行いません。自宅から斎場を借り、神職を招いて行います。

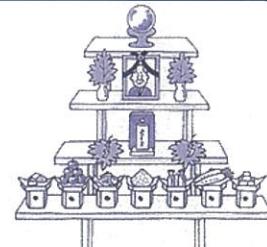
●葬場際（告別式）

仏式の葬儀・告別式にあたり、故人に最後の別れを告げる儀式です。

1. 祭儀に入る前、遺族や参列者は手を洗い口をすぐ手水の儀を行い、身を清めます。着席して斎主を迎えます。

2. 開会の辞に続き、清めの修祓（しゅうばつ）でお祓いをします。このときは頭を低くして受けます。

3. 副斎主が供物を供えた後、斎主が祭詞を奉上し玉串奉奠を行います。祭詞には、故人の経歴が祈りこまれ、人柄や業績がたたえられます。



4. 斎主、喪主から順に玉串を奉奠します。遺族、関係者、一般参列者と続けます。

5. お供えものを撤し、終了します。

活動仲間・講師募集

いろいろな仲間を作りませんか？ また、あなたの特技をいかしてみませんか？

音楽・楽器系（琴・ギター・トランペット・ウクレレ etc） 踊り（日本舞踊・社交ダンス・フラダンス etc）

趣味（編み物・デッサン・裁縫・釣り・家庭菜園・アウトドア・ボランティア活動・写真・旅行 etc）

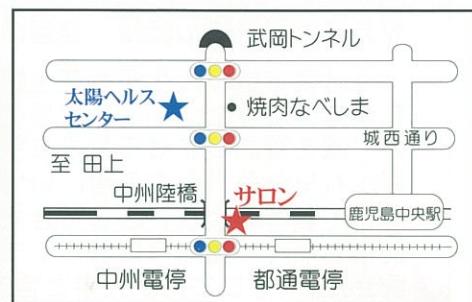
その他なんでもいいです。仲間を集めて欲しい方、講師をして下さる方、お気軽にご連絡ください！

NPO法人 求道塾・共学舎 鹿児島市中央町35番24号 TEL(099)213-0049 担当：桜井まで (090-5020-0374)

中央駅から徒歩6分（中洲陸橋横）のところに、最大30名収容出来る
コミュニティサロンがございます。

最新DAMカラオケ・DVD・大型スクリーン
を完備しており、研修・交流会・勉強会 etc
にご利用出来ます。ご利用料金等詳細は
上記連絡先でご確認ください。

お家族・お友達と気兼ねなく利用出来ます。



みかけ石納骨壇紹介

先月号でもご紹介致しました、みかけ石納骨壇についての紹介です。



現永代使用権者の皆様へ先行予約販売中
ですが、3月下旬より一般公開を開始致
します。ご希望のお客様はお早めにお申
し出くださいよう宜しくお願ひします。

見本納骨壇の『徳』部分はご自分の
お好きな文字が入れられます！

販売価格 120万円



特別サービス実施中

頭石の銘板・頭石絵彫刻・家名
銘碑彫り・家紋・花立・香皿

みかけ石納骨壇 詳細

幅約82cm 高さ約165cm
通常形骨壇12ヶ収納
屋根・洗い場付き
年間管理料：10,000円

カーレース 我が赤老馬 東風に乘れ 玉里 村山 宣章

評 カーレースが趣味の作者。愛車「赤老馬」の出来が気になる。東風は春になつて東から吹く風。運よく東風に乗ればそう簡単には負けないのだが：

老猫の 呼ぶ声空ろ 日向ぼこ
評 老猫を口ウビヨウトと呼ぶと固くなる。日向ぼこは冬の季題。一月には猫は恋の季節に入る。だから恋猫や猫の恋、春の猫、浮かれ猫などともいう。句の老猫は恋に無関係。「空ろ」に老いらぐの恋さえできない老猫の哀愁が伝わってくる。

噴煙は 東に追はれ 春まだき 紫原 種子島 景

評 桜島の噴煙が勢いよく上がった。ところが直角に東に折れ曲がった。強い北風のせいで。「春まだき」は「春は未だ来ない」ということ。待たれる春。

それぞれが 春の顔して クラス会 武岡 藤崎 節子

評 クラス会は一瞬に十数年前の月日をたぐり寄せる。人生は喜怒哀楽の波。例え悲しくてもこの時だけは現実を忘れて春のような笑顔を持ち寄る。マフソンには水を飲む中継所がある。クラス会は前向きの人生への中継所だ。

花すみれ 目にもあざやか 春の色 新屋敷 中島 陽子

評 妻は昨年春の花だから春の季題。下五に春の色と春の季題を重ねて強調してあるのは、上五のすみれは冬のすみれということ。その冬のすみれが今日あざやかに春の色に変色していたという驚き。

妻は逝き 早や一周忌 春の日々

評 妻は今年の早春に次の世に旅立つた。人生で最も壯厳な場面といわれる臨終から葬式などの宗教行事が続き、気がついたらもう一周忌。人は居なつてその存在の大きさを感じるという。お世話をなつたという感謝とともにうと生きてほしかつたという願いが交叉する。

火山噴く 薬師如来に 春の風

評 田上靈園の北側に桜島を正面にして薬師如来像が建つていて。年中噴き続ける桜島。その一部始終を余さず見ていく薬師如来像。今日の表情は穏やかである。「春になりましたよ」と告げているようであった。

紫原 青野 優子

◎俳句・詩の一人一回 句評 草の花主宰 青野 遊葉

句評 草の花主宰 青野 遊葉